

おじいちゃんのお畑

広瀬小学校 五年一組 岩田 結優杏

わたしの家には小さな畑があります。おじ

いちゃんか、家族の食べる物だけ野菜をと

ています。でもおじいちゃんも、たんたん年

をとりに畑の作るのも大変そうです。おじいち

やんが畑の守りなくば、たら次はだれが畑を

守るんだらう、とふと考えた時わたしのお父

さんが頭に思いつかびました。でも、お父さ

んは虫が大の苦手です。小さなころから虫と

りも全部虫が平気なお母さんの役目でした。

畑には、お父さんのきらいなミミズやカエル

イモムシやテントウムシ、などたくさんのお

かいます。きとお父さんは畑には行けません

ん。その時、そっだわたしが畑を手伝おう、

と思いました。おじいちゃんに「おじいちゃん

んが畑をつくれんくなったら、わたしが作

てあげるけん」と言うので、すごくよろこんでく

れました。でもいつも、食べごろになつた野

菜しか見たことなかっただのでどの野菜をどう

やって作っているのが全く知りませんでした。
わたしがおじいちゃんとして初めて作った野菜は
ジャガイモでした。三月畑に少し深めにみぞ
をほって小さん種イモはそのまま植え大きい
種イモは半分に切って、切り口に灰をつけて
植えつけます。この灰をつけるのは切り口か
らくさるのを防ぐため大切な作業です。くき
が二十センチくらいになったらくきに対して
土をもっていく土よせという作業をします。
これもまた大事な作業で大きくなったらイモが
土から出て太陽に当たると緑色になり、緑色
になつたイモは食中どくを起こすので気をつ
けなければいけません。そのころむらさき色
の花がさきますが、つみとります。ほってお
くとイモの成長に必要な栄養がとられるから
です。それ以外にも雨がふらない時は、水や
りをし葉にテントウ虫が来て食べてしまうの
で、見つけたらどらなくてはいけません。草
も生えるので草取りも行います。自分で手伝
ってからは大雨の日や風の強い日はジャガイ

ものことが心配になりました。6月末待ちに
待ったイモほりをしました。お父さんの苦
なミミズも出てきました。芋の平におさ
まるくらいの小さなイモから足のうらほ
どの大きなイモまでたくさん収か
くできました。ほったイモでおはあ
ち^やんはにものを作ってくれ
お母さんはカレーを作ってくれ
ました。どれも本当においしか
ったです。おじいちゃんも
最初のうちは、わたしのよ
うに何も分からなかつた
けど地いきの人などにきいて
今のようになつた。た
そうでなおい
しい野菜ができるよ
うになつた。そう
です。わたしはお
じいちゃんのお
作る野菜はど
れも大好きです。
おいしいおい
しいと言つて食
べるとおじい
ちゃんもとても
喜んでくれ
かになつて
います。わた
しの住んで
いる所には
おしやれな
カ^フも大きな
ス^ーパーも
ないけれど
優しい家
族を見守
てくれる
地いきの
人にかこ
まれて、
おいしい
お米や野
菜が食
べられて、
幸せです。